

Museu Etnográfico e Arqueológico Dr. Joaquim Manso

について



写真: Nuno Félix Alves

ジョアキン・マンソ博士民族誌・考古学博物館 (Museu Etnográfico e Arqueológico Dr. Joaquim Manso) ナザレ博物館 (Museu da Nazaré) の名でも知られるジョアキン・マンソ博士民族誌・考古学博物館は、1976年に一般向けにオープンしました。この博物館は、ジョアキン・マンソ博士の夏の別荘として使われていた20世紀前半の建物を利用しています。マンソ博士は、文筆家・ジャーナリストとして活躍した人物で、日刊紙「ディアリオ・デ・リスボン」の創始者でもあります。この家は、地元の慈善家アマデウ・ガウデンシオによって、博物館として活用するために1968年に国へ寄贈されました。

この博物館は地域に密着した博物館であり、その展示品は地域一帯の歴史とナザレの人々の文化的独自性を伝える内容になっています。最近では、展示テーマの範囲が広げられて海洋民族誌も含まれるようになり、地元の漁業の伝統に光をあてて、漁業に使われるいろいろな種類の伝統的な船や技法についての展示を行っています。

ここの所蔵品には、考古学的な遺物、記録文書、伝統的な衣装に加え、彫刻や絵画も含まれています。

問い合わせ先

Rua D. Fuas Roupinho Sítio 2450 Nazaré
電話 : +351 262 562 801
ファックス : +351 262 561 246
Eメール: mdjm@imc-ip.pt
ウェブサイト : <http://www.imc-ip.pt>

特色とサービス

ガイドツアー

その他の情報

各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。